



Future Mobility Summit : Tokyo 2019

2019年 10月23日 (水) 開催

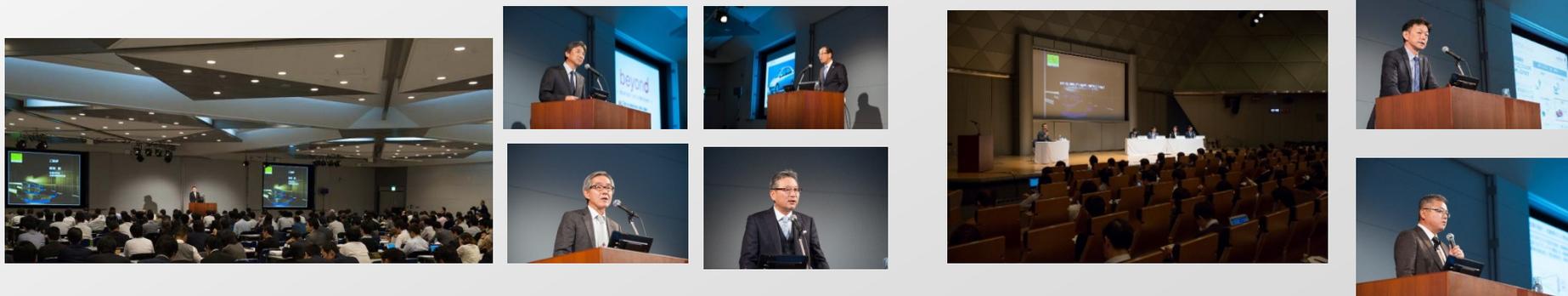
日経BP

人間がハンドルを握ってクルマを運転する光景は、無くなるのでしょうか。自動運転によるクルマの革新は、自動車メーカーや、サプライヤーという従来のプレイヤーだけでなく半導体や大手IT企業、AI、VR開発を得意とするベンチャー企業等様々な企業が、未来の「クルマ マーケット」の覇権を握るべく開発競争を繰り広げています。

覇権を握るために、どの技術を開発し押さえるのか。

本サミットではこのような「クルマ マーケット」の最新動向、取り組みや戦略を捉えるとともに、未来のマーケットがどのように推移するのかを展望します。

貴社製品・サービス訴求の絶好の機会となりますので、是非ご協賛をご検討ください。



<カンファレンス登壇予定者>

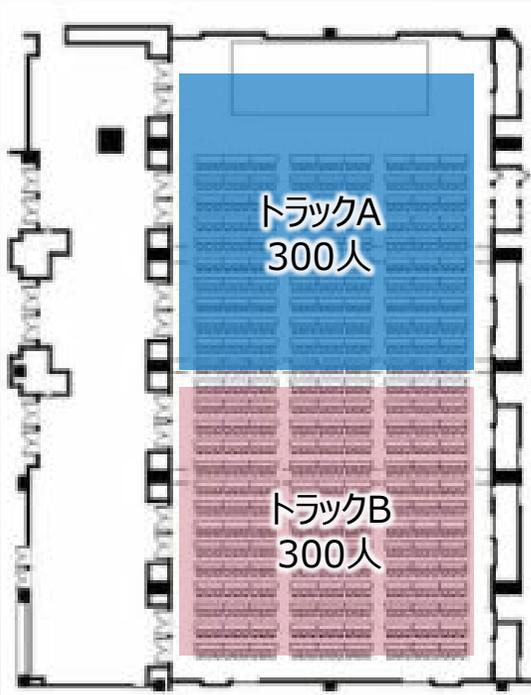
国・省庁、国内外のOEM, Tier1, Techのトップ及びマネジメント層、技術層。

<参加者>

国内外のモビリティ関連企業マネジメント層、
研究開発者、地方自治体政策担当者等

- 名 称 : 自動車未来サミット (仮)
- 会 期 : 2019年10月23日 (水)
- 会 場 : ヒルトン東京お台場
- 主 催 : 日経ビジネス, 日経Automotive
- 後 援 : 一般社団法人日本自動車工業会
- 受 講 者 数 : 600名予定 (想定延べ人数)
- 受 講 料 : 29,800円 (予定)
- 受 講 者 属 性 : 自動車メーカー、自動車部品メーカー、電機メーカーの経営層、経営企画、
および研究・開発、設計、製品企画に携わるエンジニア、マネージャー
自動車関連ビジネス経営層、経営企画、新事業開発担当者、ベンチャー経営者





【午前】合同トラック (A:メイン会場、B:サテライト会場※予定※)

■ モビリティが変わる

－テーマ－

基調講演として、国内主要自動車メーカー各社の企業としての取り組みや最先端の技術動向／今後の展望やロードマップについて語る。

－展開予定－

トラックAを講演者が登壇するメイン会場とし、トラックBではサテライト会場としてLIVE配信。当日は来場先着順でメインからのご案内。

－協賛枠－

1枠 (1講演)

【午後】2トラック制

■ トラックA : MaaS

－テーマ－

市場やサービスなど、MaaS (Mobility as a Service) の最新動向と今後のビジネスモデルの展望を探る。

－協賛枠－

3枠 (3講演)

■ トラックB : CASE

－テーマ－

各社が考えるCASEの位置づけや最新動向と今後のビジネスモデルの展望を探る。

－協賛枠－

3枠 (3講演)

【登壇予定者】※企業名敬称略、順不同

NTTドコモ代表取締役社長 (吉澤 和弘氏)、ブリヂストン (石橋秀一副会長) 日本交通 (川鍋一郎会長)、コンチネンタル (開発責任者)、デンソー (隅部常務)、ポッシュ (開発責任者)、DiDiモビリティジャパン取締役副社長兼 ソフトバンク株式会社常務執行役員 (菅野圭吾氏)、ソニー (自動運転担当者)

ご協賛メニュー

ご協賛料金：20,000,000円 (税別)

platinum

- ご講演枠：セミナーでのご講演 (30分間)
- ご講演レポート：雑誌、webサイトへの広告掲載
 - ✓ 日経ビジネス 4色4ページ (貴社講演レビュー) + 4色2ページ (貴社純広告)
 - ✓ 日経Automotive 4色4ページ (貴社講演レビュー) + 4色2ページ (貴社純広告)
 - ✓ Specialサイト (日経ビジネス電子版+日経 xTECH (クロステック)) 1ヶ月間掲載

- セミナー会場でのブース提供
- 事前告知、会場でのロゴ掲載

▼『日経ビジネス』『日経Automotive』
2018年掲載実績sample



▼Specialサイト



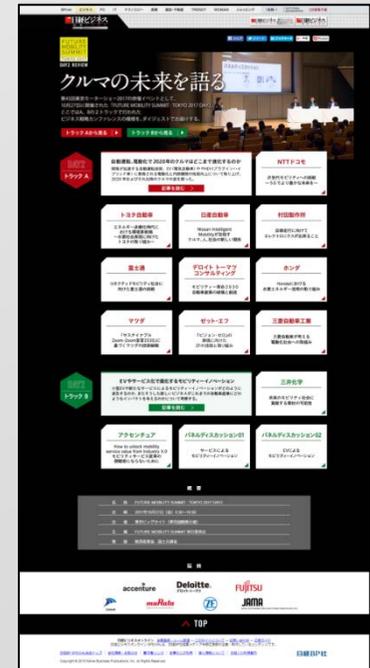
ご協賛メニュー

ご協賛料金：10,000,000円 (税別)



- 講演枠：セミナーでのご講演 (30分間)
- 講演レポート：雑誌、webサイトへの広告掲載
 - ✓ 日経ビジネス **4色2ページ (貴社講演レビュー)**
 - ✓ 日経Automotive **4色2ページ (貴社講演レビュー)**
 - ✓ Specialサイト (日経ビジネス電子版+日経 xTECH (クロステック)) **1ヶ月間掲載**
- セミナー会場でのブース提供
- 事前告知、会場でのロゴ掲載

▼Specialサイト



▼『日経ビジネス』『日経Automotive』
2018年掲載実績sample



参考：FUTURE MOBILITY SUMMIT：Tokyo2018 レポート①

「開催概要」

- 日程：2018年11月20日（火）9：20～17：20
- 会場：東京国際フォーラム B7会場
- 主催：日経ビジネス、日経Automotive
- 協賛：デロイト トーマツ、富士通、村田製作所、パーテックス
- 内容：「成長戦略を徹底議論 自動車からモビリティ産業へ その潜在力と課題」
(受講料：39,800円)
- 午前：共通トラック
- 午後：経営トラック、技術トラック（2トラック制）※受講者はどちらかのトラックを選択

「実施結果」

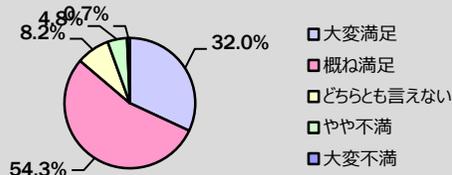
K：共通トラック／モビリティが変わる

9：30～12：30

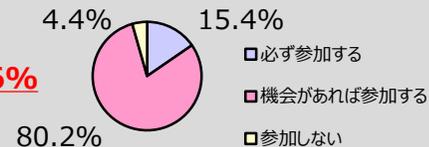
来場者TOTAL:452名

来場者アンケート

講演に満足 **86.3%**



次回も参加 **95.6%**



A：経営トラック／市場・サービスが変わる

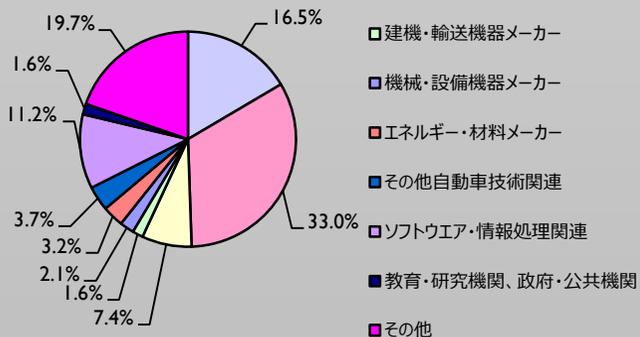
13：00～17：20

来場者TOTAL:272名



自動車関連企業が約半数
ソフトウェア／情報処理関連の
関係者が次いで多い

来場者アンケート
：勤務先企業



参加者の**60%以上**が
課長以上の役職者

B：技術トラック／自動運転・電動化・パワートレインの進化

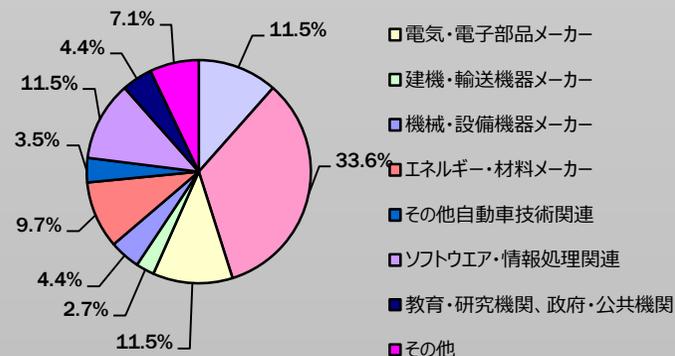
13：00～17：20

来場者TOTAL:180名



自動車関連企業が約半数
ソフトウェア／情報処理関連
電機・電子部品メーカーの
関係者が次いで多い

来場者アンケート
：勤務先企業



参加者の**65%以上**が
課長以上の役職者

参考：FUTURE MOBILITY SUMMIT：Tokyo2018 レポート②

「開催概要」

■ 日程：2018年11月20日（火）9：20～17：20

■ 会場：東京国際フォーラム B7会場

■ 主催：日経ビジネス、日経Automotive

■ 協賛：デロイト トーマツ、富士通、村田製作所、パーテックス

■ 内容：「成長戦略を徹底議論 自動車からモビリティ産業へ その潜在力と課題」

（受講料：39,800円）

午前：共通トラック

午後：経営トラック、技術トラック（2トラック制）※受講者はどちらかのトラックを選択

共通トラック	
9:30～9:35	開会の挨拶 日経ビジネス発行人 酒井 耕一
9:35～10:15	マツダの次世代技術について マツダ代表取締役副社長執行役員/社長補佐、北米事業・研究開発・MDI統括 藤原 清志 氏
10:15～10:55	モビリティカンパニーへの変革 トヨタ自動車 取締役・副社長 寺師 茂樹 氏
11:05～11:45	Grabのデジタルプラットフォーム～東南アジアでドライブーションを起こすのか Grab(東南アジア最大手のライドシェア) 地域統括、戦略的自動車パートナーシップ担当 ドミニク・オング 氏
11:50～12:30	電子部品が次世代モビリティ産業を牽引する 村田製作所 代表取締役 専務執行役員 モジュール事業本部 本部長 中島 規巨 氏
	A: 経営トラック 市場・サービスが変わる
13:00～13:40	Building Digital Infrastructure for Urban Mobility 米Coord CEO Stephen Smyth 氏
13:40～14:20	Future of Mobility - An Opportunity to Re-Invent Mobility 米ActiveScaler CEO Abhay Jain 氏
14:30～15:10	【講演&パネルディスカッション】 2025年に向けた世界自動車販売市場予測 IHS マークイット 日本・韓国ピークル・セールス・フォーキャスト マネージャー 川野 義昭 氏 自動車市場、成長戦略の光と影 ～「自動車産業に迫る100年ぶりの大変革」電動車の現状と展望 を中心に～ 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 インベステトリサーチ部 シニアアナリスト 杉本 浩一 氏
15:10～15:50	スズキのインド戦略 スズキ 四輪技術本部長 専務役員 蓮池 利昭 氏
16:00～16:40	モビリティ革命2030 beyond ～都市MaaS・モビリティビジネスを日本からアジアへ～ デロイト トーマツ コンサルティング 自動車セクター パートナー 田中 義崇 氏
16:40～17:20	5Gで描くモビリティの未来 ソフトバンク 技術戦略統括 先端技術開発本部 本部長 湧川 隆次 氏
	B: 技術トラック 自動運転・電動化・ パワートレインの進化
13:00～13:40	Future Mobility Society and Fujitsu's Technologies 富士通 Mobilityシステム事業本部 本部長代理 神 俊一 氏
13:40～14:20	車載用二次電池の需要動向とCATLの紹介 コンテンツポラリー・アンプレックス・テクノロジー・ジャパン 取締役社長
14:30～15:10	クルマに迫るサイバー脅威 ～自動車業界における“共闘”の最前線より～ デロイト トーマツ リスクサービス 自動車セクター パートナー 泊 輝幸 氏
15:10～15:50	ADAS・自動運転を支えるポッシュのセンサー技術 ポッシュ シヤンシステム コントロール事業部 ドライバーアシスタンス部門長 シニアゼネラルマネージャー 安部 大輔 氏
16:00～16:40	AUTO Cityによるフュージョンセンシングのバーチャル検証環境の構築について パーテックス 代表取締役社長 尾小山 良哉 氏
16:40～17:20	カルソニックカンセイが考えるCASE時代のクルマの魅力 カルソニックカンセイ 副社長執行役員 グローバルテクノロジー本部長

■ レビューサイト：進化するクルマの未来 (Future Mobility Summit:2018TOKYO)

<https://special.nikkeibp.co.jp/atclh/NBO/18/fms2018/>

The screenshot displays the official website for the Future Mobility Summit 2018 Tokyo. The main banner at the top features a futuristic car and the text "進化するクルマの未来" (The Future of Evolving Cars). Below the banner, there are navigation tabs for "共通トラック" (Common Track), "経営トラック" (Business Track), and "技術トラック" (Technology Track). The "共通トラック" section is highlighted, showing a list of speakers and topics. A sidebar on the right lists sponsors including Fujitsu, MuRata, and Vertechs. The bottom of the page includes the event details and logos of the organizers, Nikkei Business and Nikkei Automotive.

参考：FUTURE MOBILITY SUMMIT： TOKYO2017 レポート①

「実施背景」

日本が世界のモビリティの中心地となり、東京モーターショーが国際メジャーショーに返り咲き、日本の自動車産業が世界をリードすることを目指し、BtoBビジネスカンファレンス「Future Mobility Summit:Tokyo 2017」を開催。「Day1」「Day2」の2要素で構成され、東京モーターショーのもつBtoBビジネスのポテンシャルについてのグローバルでの認知獲得、及び日本が世界のモビリティの中心地になる契機を目指して実施。

「DAY2の概要」

自動車産業を核として、これからの10年で新しいモビリティ社会が生まれようとしています。電気・電子産業やIT業界では、過去10年の間に、ソフト化、サービス化が急速に進展し、業態の違いを超えた熾烈な覇権争いが起こりました。この競争が自動車を取り巻くモビリティ社会にも押し寄せようとしています。この変化を目の当たりにした日本が、モビリティにおける国際競争力を持続するために必要な取組(国・省庁の取組、法改正、実証実験、通信等との連携等)及びビジネス構築の入口作りをどう行うのかを議論する場(カンファレンス)を企画。

「実施内容」

- 日程： 2017年10月27日(金) →TMSプレビューデー
- 会場： 東京ビッグサイト会議棟6F・7F
- 主催： Future Mobility Summit 実行委員会
(主構成会社：日本経済新聞社、日経BP、電通)
- 協賛： 一般社団法人 日本自動車工業会
アクセンチュア、デロイト トーマツ、富士通、三井化学、村田製作所
ゼット・エフ・ジャパン
- 内容：トラックA (受講料：59,800円)
「自動運転、電動化で2020年のクルマはどこまで進化するか」
トラックB (受講料：5,000円)
「EVやサービス化で進化するモビリティイノベーション」

※詳細内容は次ページ参照

「実施結果」

①Aトラック「自動運転、電動化で2020年のクルマはどこまで進化するか」

トラックA (9:00~17:00@東京ビッグサイト会議棟6階)

来場者数：384名

ビジター 286名

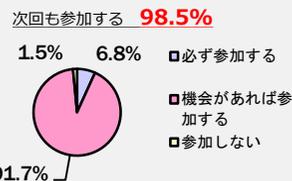
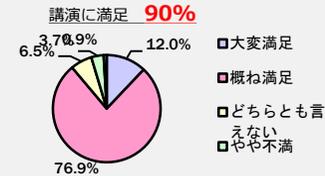
関係者 70名

メディア 28名

IT Media、テレコミュニケーション、読売新聞社、北海道新聞社、KADOKAWA、日経電子版、日本経済新聞、日経Automotive、テレビ東京、TMS事務局、Honda Hot Eyes (ホンダ様WEBサイト)、MCIねっと(三井化学社内報)、DTCBC(デロイトトーマツ様社内広報番組)、テクノロジーイノベーションズ(TF)WEBサイト



来場者アンケート



①Bトラック「EVやサービス化で進化するモビリティイノベーション」

トラックB (13:15~18:00@東京ビッグサイト会議棟7階)

来場者数：382名

ビジター 331名

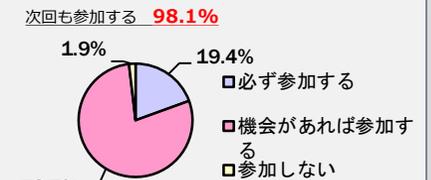
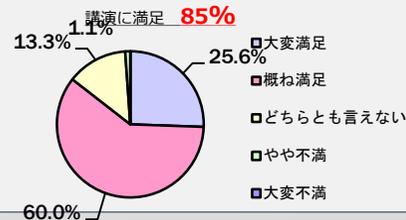
関係者 45名

メディア 6名

テレビ東京「ガイアの夜明け」、ディー・エヌ・エー、日本経済新聞社、ハイテックグローバルエレクトロニクス



来場者アンケート



参考：FUTURE MOBILITY SUMMIT： TOKYO2017 レポート②

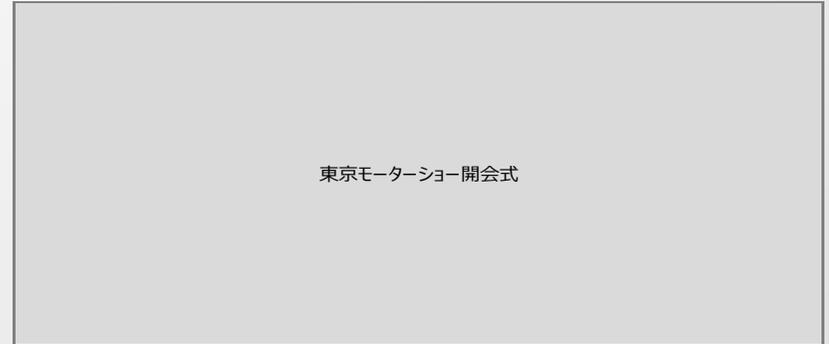
<プログラム>

トラックA：6階会場

トラックA：自動運転、電動化で2020年のクルマはどこまで進化するのか	
開発が加速する自動運転技術、EV（電気自動車）やPHEV（プラグインハイブリッド車）に象徴される電動化と内燃機関の性能向上で、2020年のクルマはどこまで進化するのか。完成車や部品などで世界をリードする主要メーカーが最先端の技術動向と開発のロードマップについて語る。	
09:30-09:33	主催者挨拶
09:33-09:36	開会挨拶：経済産業省 製造産業局 電池・次世代技術・ITS推進室長 垣見直彦氏
09:36-09:39	開会挨拶：国土交通省 自動車局 技術政策課 課長 江坂行弘氏
09:40-10:10	基調講演：NTTドコモ社長吉澤和弘氏 「次世代モビリティへの挑戦～5Gでより豊かな未来を～」
10:10-10:40	トヨタ自動車 Mid-size Vehicle Company MS製品企画 チーフエンジニア 田中義和氏 「エネルギー多様化時代における環境車戦略～水素社会に向けたトヨタの取り組み～」
10:40-11:00	休憩
11:00-11:30	日産自動車 総合研究所所長兼アライアンス グローバル ディレクター 理事 土井三浩氏 「Nissan Intelligent Mobilityが目指すクルマ、人、社会の新しい関係」
11:30-12:00	協賛講演：村田製作所 代表取締役 専務執行役員 モジュール事業本部 本部長 中島規巨氏 「自律走行に向けてエレクトロニクスが出来ること」
12:00-13:00	休憩
13:00-13:30	協賛講演：富士通 Mobility IoT事業本部 フロントシステム事業部 事業部長 神 俊一氏 「コネクテッドモビリティ社会に向けた富士通の挑戦」
13:30-14:00	ホンダ 執行役員 本田技術研究所 取締役 専務執行役員 三部敏宏氏 「Hondaにおける水素エネルギー活用の取り組み」
14:00-14:30	協賛講演：デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 自動車セクター 田中義崇氏 「モビリティ革命2030 ～自動車産業の破壊と創造～」
14:30-14:35	(場面転換)
14:35-15:20	基調対談：SUBARU 代表取締役社長CEO 吉永泰之氏 × テレビ東京 アナウンサー 森本智子氏 「SUBARU 笑顔をつくる会社へ」
15:20-15:30	休憩
15:30-16:00	マツダ 執行役員 R&D管理・商品戦略担当 商品戦略本部長 工藤秀俊氏 「『サステナブルZoom Zoom宣言2030』に基づくマツダの技術戦略」
16:00-16:30	協賛講演：ゼット・エフ・ジャパン 取締役ビーター・レイク氏 『ビジョン・ゼロ』の実現に向けたZFの技術と取り組み
17:00-17:30	三菱自動車 三菱自動車工業 EV・パワートレイン技術開発本部チーフ・テクノロジー・エンジニア 百瀬信夫氏 「三菱自動車が考える電動化社会への取り組み」

トラックB：7階会場

トラックB：EVやサービス化で進化するモビリティイノベーション
次世代のモビリティを目指して、より小型で効率のよいEVや、シェアリングや自動配車などによってよりクルマを使いやすくサービスが登場している。ベンチャー企業を中心にこうしたイノベーションに挑戦する企業が、どのようなビジネスモデルによってモビリティ産業を革新しようとしているのか、未来の潮流を探る。



13:15-13:40	オープニングセッション：「モビリティ革命は本当に起こるのか」 モデレーター：日経BP社 先端技術メディア 発行人 林 達彦氏 パネリスト：日経ビジネス編集部 ロンドン支局長 蛭谷 敏氏、日経ビジネス編集部 記者 池松由香氏、日経Automotive 記者 久米秀尚氏、ジャーナリスト 桃田健史氏
13:40-14:10	協賛講演：三井化学 代表取締役専務執行役員 諫山 滋氏 「三井化学 20年目のモビリティへの挑戦（仮）」
14:10-14:40	協賛講演：アクセンチュア デジタルコンサルティング本部 インダストリーX.0日本統括 マネージング・ディレクター 河野真一郎氏 「How to unlock mobility service value from Industry X.0 モビリティサービス変革の傍観者にならないために」
14:05-14:35	休憩
14:50-16:20	サービスによるモビリティイノベーション（ベンチャーピッチ20分×3＋パネルD30分） ・Global Mobility Service社長 中島徳至氏「社会に求められるサービスイノベーションとは」 ・未来シェア会長 中島秀之氏「AIが創るモビリティの未来」 ・DeNA オートモーティブ事業部 カーシェアリンググループ グループマネージャー Anyca事業責任者 馬場光氏 「Anycaが描くシェアリングサービスの未来」
16:20-16:30	(場面転換)
16:30-18:00	EVによるモビリティイノベーション（ベンチャーピッチ20分×3＋パネルD30分） ・Uniti Sweden社 CEO Lewis Horne氏「Uniti - ユートピアのためのデザイン」 ・rimOnO 代表取締役社長 伊藤慎介氏「低速マイクロEVが創る新しいモブクリと街づくりの可能性」 ・F O M M代表取締役社長 鶴巻日出夫氏「F O M Mが目指すもの - 超小型電気自動車が実現する社会」

参考：FUTURE MOBILITY SUMMIT： TOKYO2017 レポート③

「イベントセッティング」 トラックA会場



トラックB会場



受付



スポンサーブース



「フォーラムセッション」

キーノート (国交省)



キーノート (NTTドコモ)



キーノート (トヨタ自動車)



キーノート (日産自動車)



協賛講演 村田製作所



キーノート (本田技研工業)



キーノート (マツダ)



キーノート (三菱自動車)



トラックA セッション



トラックB/パネルディスカッション①



「参加客動向」

会場は常に盛況、終盤まで衰えず



「ホスピタリティ&スポンサー活動」

世界有数のカーイベントとしての集客力



開場すぐに受付前には受講者でいっぱい



スポンサー活動



日経BP社 経済メディア広告部

E-Mail : nb-ad@nikkeibp.co.jp

TEL : 03-6811-8031

〒105-8308 東京都港区虎ノ門4-3-12